

【島のくらしの情報】

ジョブカフェ瀬戸内～周防大島諸島(屋代島、笠佐島、浮島、前島、情島、沖家室島)～

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>主に農漁業が主体です。二次産業・三次産業に島外で従事される方もいます。現状は新規就農だけで生計を立てるのは難しいです。近年では島内で起業するUIターン者が増えています。</p>
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<p>島内には空き家が多数あり、町の取り組みとして「空き家バンク」の拡充を図っています。また、公営住宅もあります。空き家・農地に関する相談には官民連携して対応いたします。</p> <p>お問い合わせ: 空き家バンクについて 政策企画課 電話番号0820-74-1007 公営住宅について 生活衛生課 電話番号0820-79-1010 農地について 農林課 電話番号0820-79-1002</p>
<p>③ 医療環境の状況</p>	<p>島内には入院設備のある町立病院が3つ、個人医院が2つあります。また、外来のみ個人医院が5つあります。</p>
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<p>特別養護老人ホーム・老人保健施設・グループホーム等があります。 妊婦検診等については、島外の医療機関の受診となります(検診料14回まで無料)。 乳児健診等については、島内・島外の医療機関の受診となります(検診料1・3・7か月健診が無料)。 乳幼児・児童の定期予防接種について島内・島外の医療機関で個別接種となります。 高等学校就学前までは医療費無料です。</p>
<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<p>島内には保育園が14、小学校が11、中学校が5、高校が1、商船高専が1、大島看護専門が1あります。放課後児童クラブもほとんどの小学校近くにあります。</p>
<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>島内ほぼ全域に上水道が整備されています。 ガスはLPガスです。電気に関しても島内全域で使用可能です。 下水道については、一部地域で整備されています。下水道事業等の許可区域以外では、合併処理浄化槽設置に対する補助があります。</p>

<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>本島は本土と約1kmの大島大橋で結ばれています。JR大島駅からバス・タクシーをご利用下さい。また、4つの有人島(浮島・情島・前島・笠佐島)は町営渡船で本島と連絡しています。</p>
<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>国道・県道(一部地域):防長バス 島端や山間部の県道(一部地域):町運営バス、乗合タクシーになります。</p> <p>周防大島で暮らすには、車が必需品になります。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>島内にスーパー・コンビニ・商店等が10軒以上あります。またホームセンターが3軒あります。 物価は本土とさほど変わりません。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>「島時々半島ツアー」を11回実施し、134名参加され34名が移住しております。 また、移住者全体の数字は把握しておりません。</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>周防大島町定住促進協議会では、また周防大島に興味を持ってくださった方が実際に島暮らしを経験してもらえよう「お試し暮らし制度」を導入しています。「お試し暮らしツアー」を年3回開催しています。「島暮らしに興味はあるけどイキナリはちょっと・・・」という方におすすめです！</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>ライフプロデューサー配置して生活設計を含めた移住相談を行っております。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>元気なおじいちゃん・おばあちゃんが多く、畑などで現役で働いています。</p>